

# 愛寿会 たより

1月号  
第103号  
平成20年  
1月1日発行



【八ヶ岳を背に建つ仁生園】

## 福祉の道に六十年

一年の初めに思うこと

明けまして おめでとうございます。  
「一年の計は 元旦にあり」と申しますが、年の初めに来し方を振り返り、これからを思うことの意義は大きいと存じます。

私は、只今八十一才。人生八十年時代の真只中を生きているわけですが、奇しくも今年には東京・原宿の日本社会事業専門学校の門を叩いてから六十年という節目の年にあたります。社会福祉と出合つて六十年にしてなお、福祉の現場に身をおいていることの有難さを感じながら私の一週間をスケッチしてみました。

月・水・木は、東京・杉並の浴風会に、火曜日は、国分寺市障害者センターの万葉の里へ、そして金曜日は、郷里、山梨・北杜市の愛寿会へと出かけるこの頃です。

「浴風会」は、老人福祉、介護保険、病院の三事業を中核に認知症介護研究・研修東京センター、電話相談や国際交流事業、ヘルパースクールなどを併せもつ高齢者総合支援センターとして八十三年の歴史をもっています。一日平均利用者二千百名、スタッフ八百名、年間総事業費八億円という本邦屈指の大人。

## 社会福祉法人 愛寿会

理事長 板山 賢治

「万葉の里」は、平成十五年創設の法人で、国分寺市障害者団体（国障連）の多年の連動の成果ともいえる「市立障害者センター」（知的障害の通所更生を中心に全障害者の相談・訓練支援センター）の「指定管理者」です。一日平均利用者百八十名、スタッフ四十名、総事業費三億円という法人です。

そして「愛寿会」です。愛寿会は、三十三年にわたり、八ヶ岳南麓・海拔千メートルの地に特別養護老人ホーム仁生園・グループホーム・デイサービスセンター・生活支援ハウスを中心に高齢者総合生活支援センターの役割を果たしてきました。昨年七月には、地域のニーズにこたえて重度障害者むけの療護施設・第二仁生園を創設（定員三十名）しました。

一日平均利用者二百三十名、スタッフ百四十名、総事業費約七億円は、県内屈指の法人といえましよう。

社会福祉の世界に身を投じて六十年。今もなお、三法人―一日利用者二千五百名、スタッフ約千名、総事業費約九十億円の事業経営に責任をもつことの不思議さと責任の重大さを痛感しております。ひとえに先人、同志及び地域の皆さんの支えによるものと深く感謝いたしますとともに、私自身の「心の健康」と身の処し方に心しなければと思いを新たにする年の初めであります。

料金後納  
郵便

差出人(差込発送代行)  
7-4  
佐川物流サービス(株)  
返送先: 〒140-0012  
品川区勝島1-1-1

申子小包

この荷物をご依頼人様からお預かりした荷物を当社が差出人となって発送代行いたします。

― 理事会開催 ―

第一七一回理事会が十二月二十一日に開催され、次のことが審議されました。

議題

一・諸規程の変更について

○職場における勤務規律等を定めた就業規則において、セクシュアルハラスメントに係る性的な言動を行なった者に対する『懲戒事由となる言動』とそれに対応する『制裁の種類』について明確にしました。

○育児休業・介護休業規程について、育児又は家族介護を行なう労働者の福祉に関する法律に基づき、改正しました。

二・第二仁生園建設会計決算報告について

昨年九月より二ヶ年度事業として実施しておりました第二仁生園が六月末に完成し、国庫・山梨県・北杜市補助金が予定どおり入金されますとともに、すべての支払いを十月中に完了しましたので、第二仁生園建設に係る会計について決算報告があり、異議なく承認されました。

三・役員の変更について

当法人の理事・評議員の内、北杜市の当職・役員四名が改選となる報告がされ、後任の役員選任については理事長に一任することとなりました。

四・その他

十二月末をもって退職となる「法人事務局長 根津英雄」氏に替わり、一月一日付にて「中山真由美」氏を後任とすることが決定されました。



【 理事会の様子 】

# 謹賀新年

旧年中は温かいご支援ご協力を賜りましたことに、厚く御礼を申し上げます。  
愛寿会は、福祉総合生活支援センターとしての使命と役割を果たせるよう、役職員一同更なる努力をいたす所存でございます。なお一層のご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。

平成二十年 元旦

社会福祉法人 愛寿会

- 理 事 長 板山 賢治
- 副 理 事 長 小澤 澄夫
- 統括施設長 清水 久雄
- 第二仁生園長 小池 光夫
- 法人事務局長 中山真由美
- 外役職員一同

福祉総合生活支援センター「仁生園」

介護保険事業

- ・ 特別養護老人ホーム
- ・ ショートステイセンター
- ・ デイサービスセンター
- ・ グループホーム
- ・ 介護相談センター
- ・ 老人保健事業
- ・ 生活支援ハウス
- ・ 障害者支援事業
- ・ 障害者自立支援ホーム

） クリスマス会 ）

十二月の大きなイベントといえばクリスマスです。本年も盛大にクリスマス会が催されました。

クリスマスツリーが据えられ、モールやリースなどで飾り付けられた会場は、クリスマスモード一色に染まっていました。参加された入所者のみな様は、たくさんのご馳走やサンタクロースの登場、また職員や入所者の代表の方々による出し物を、心から楽しまれている様子でした。

十二月二十五日（火）開催



たくさんのご馳走をいただきました



【 十二月十九日に行なわれましたグループホーム「やすらぎ」のクリスマス会 】



【 十二月十七日～二十二日に行なわれましたデイサービス クリスマスウィーク 】

） 第二仁生園 クリスマス会 ）

十二月十九日（水）十四時から、クリスマス会が開催されました。初めてのクリスマス会でしたので準備もままならない状態でしたが、職員と利用者が一緒に会場の飾り付けをするなど全員で準備をしました。

クリスマス会が始まると、ハンドベルを使って「ジングルベル」や「赤鼻のトナカイ」の歌など全員で合唱し、楽しい雰囲気の中ビンゴゲームでさらに盛り上がりました。心待ちにしていたサンタクロース（利用者の一人が扮する）の登場に利用者みなさんのボルテージも急上昇し、サンタクロースから全員にプレゼントが渡され楽しい楽しいクリスマス会もお開きとなりました。

今回は、ご家族の方・ご近所の方々もお呼びし、もっともっと楽しいクリスマス会にと考えております。



【 とても楽しいクリスマス会 】

運動会

十二月七日(金)、冬季ミニ運動会が開催されました。『釣りゲーム・椅子取りゲーム・玉入れ・マシユマロキヤッチ・ハンドベル』など盛りだくさんのゲームや出し物を行ないました。

たくさんの方の利用者のみな様に参加して頂き、各フロアー対抗で、職員と入り混じり競技を行ないました。ご自分のフロアーを真剣に応援する方、手をたたいて大笑いされる方、大変に盛り上がった運動会となり、優勝を飾った3班には、板山理事長より優勝トロフィーが手渡されました。



【 椅子取りゲーム・応援にも熱がはいました 】

ふいご祭

十二月十四日(金)、一年無事故で火災にならないよう祈願する為の「ふいご祭」を新館一階の機械室にて執り行ないました。

神主の石原様のお払いを受け、当日出席した職員は、安全管理の認識を新たにするとともに今後、入所者ならびに利用者のみな様が、安心して快適な生活又はご利用していただけるよう、役職員一同しっかりと危機管理を行なってまいります。



【 無事故・安全の祈りを捧げる  
神主 石原様と職員一同 】

後援会入会のご報告

- 桜井義長様
- 田中寿弘様
- 今井之彦様
- 遊佐康弘様
- 入江 薫様
- 宮坂 清様
- 東塚 徹様
- (有) 宮坂自動車様
- 守屋俊之様
- 黒津利昭様
- 貞広孟史様

後援会にご加入いただきましたみな様に厚く御礼申し上げます。

芳情(十二月一日〜十二月三十一日)

- ・レクボランティアほがらかグループ 様
- ・レクボランティアゆずつこの会 様
- ・北杜市 山鳩の会 様
- ・北杜市 保坂 多枝子 様
- ・北杜市 小野寺 毅 様
- ・北杜市 唐木 美代子 様
- ・さいたま市 小松 英利 様
- ・所沢市 諸井 美津江様 他十名様
- ・蕪崎市 蕪崎東中学校 様

利用者状況(十二月末現在)

特別養護老人ホーム	一三二名
ショートステイセンター	十五名
デイサービスセンター	六十七名
グループホームやすらぎ	九名
生活支援ハウスこあらま	七名
第二仁生園	二十九名

仁生園のサービスに何かご意見、ご要望や苦情などがございましたらこちらまでお寄せ下さい。電話0551-32-3340